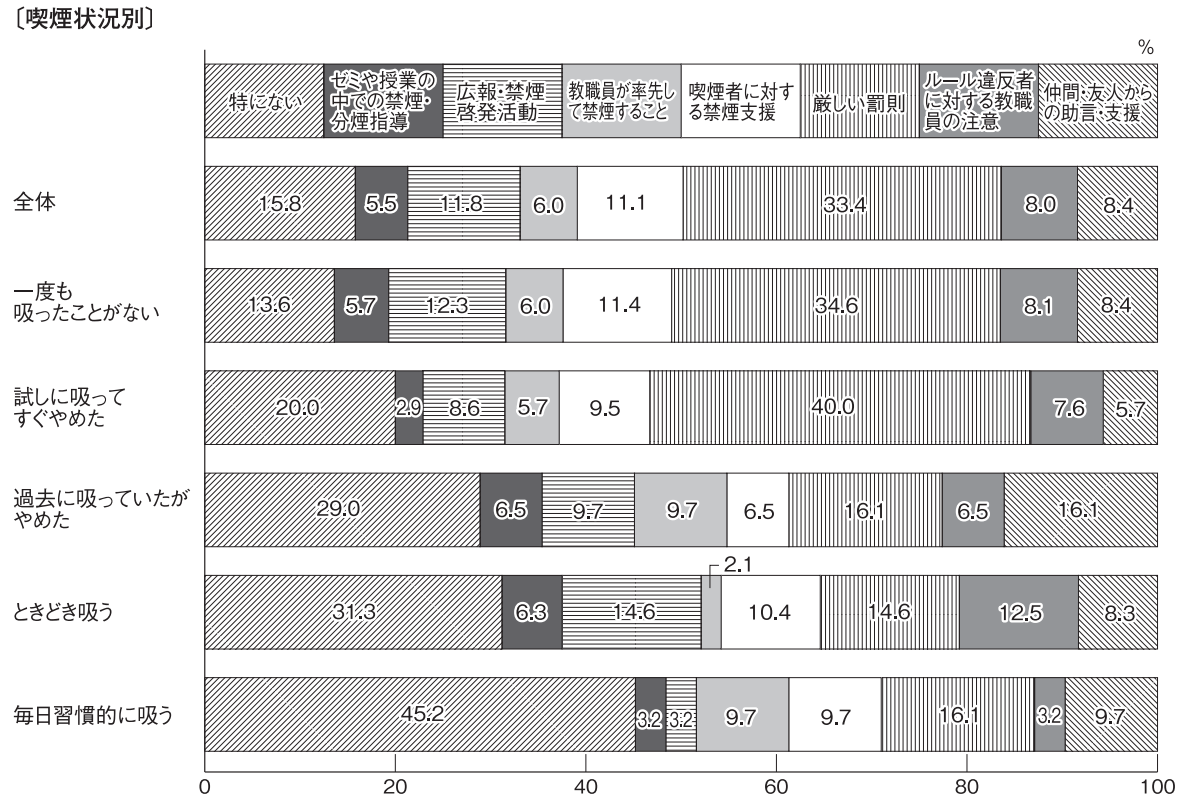
受動喫煙防止対策で必要なこと

問4-6　関西大学が受動喫煙防止対策を進めるうえで、あなたが一番必要だと思うことは何ですか？



【基数：対象者全員】

3割以上の学生が「厳しい罰則」が必要だと回答

関西大学が受動喫煙防止対策を進めるうえで、一番必要だと思うことは何かという問いに対して、「厳しい罰則」と答えた学生が33.4%を占める結果となった。クロス集計で性別に比較すると、その傾向は女性（27.0%）に比べて男性（39.1%）の割合が12.1ポイント高い結果となった。また、喫煙状況別に比較すると、一度も吸ったことがない学生、試しに吸ってすぐやめた学生の約4割が「厳しい罰則」を求めている。一方、毎日習慣的に吸う、ときどき吸う学生の多くが「特にない」と答えており、受動喫煙防止の一貫でもある学内分煙化を進めるうえでも、喫煙者の理解をいかに求めていくか今後検討する必要があろう。

受動喫煙の防止については、一朝一夕にできるものではない。喫煙者、非喫煙者双方が納得する形で快適なキャンパス環境を実現することができるよう、大学として様々な取り組みを長期に渡って行っていく必要があるだろう。